

いわちゃん ポスト

岩井やすのりの県政かわら版

千葉県議会議員



岩井やすのり

略歴 1970年(昭和45年)生まれ52歳
専修大卒、早稲田大学院 政治学研究科修了

事務所連絡先 Fax: **0476-36-7802**

HP: <http://www.iwai-y.jp> メール: mail@iwai-y.jp

印旛郡栄町安食台 2-26-23 (栄町役場前大山ビル 2F)



ツイッター始めました！
(@9I4SgDc1ET2EEKA)

知事が視察 印西市が要望した2つの道路課題

熊谷県知事が印西市を訪れ、地元県議として板倉市長らとともに現地視察、意見交換を行ったのは4/26のこと。その際に市として県に要望した課題のうち、県道整備に関する2点について取り上げます。

●わずか3千㎡の未取得用地に地権者数十名

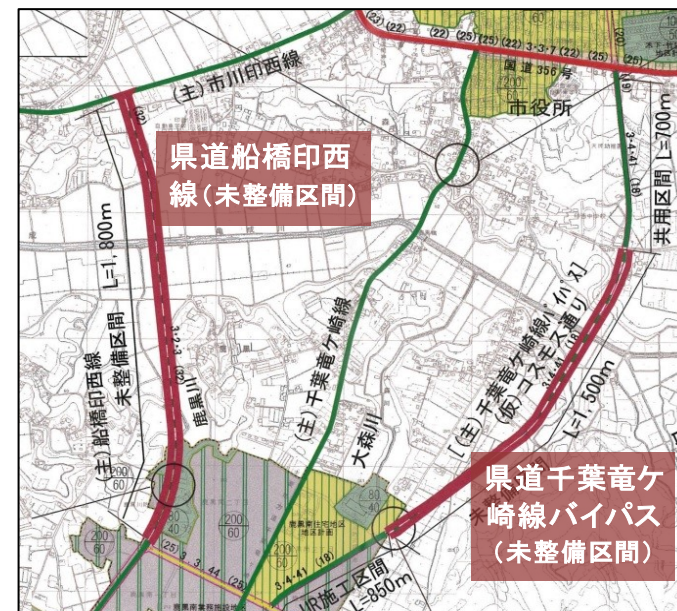
まずは、県道千葉竜ヶ崎線バイパス事業についてです。現道の千葉竜ヶ崎線は線形が良くなく、歩道が確保できないほど幅員が狭い状況。大型車両の往来が目立つ中、近隣の小学生が肩を狭めながら通学しています。残る1.5キロのうち、未取得用地はわずか3千平米ほど。しかし、関係地権者が数十名という「所有者不明土地」で、用地の取得完了、全線開通の目途は立っていません。

北千葉道路や千葉NT(ニュータウン)地区から茨城方面へ抜ける重要幹線道路と位置付けられており、地域産業の発展という側面からも、早期の全線開通が望まれています。

●千葉北西連絡道と直結 印西市を交通の要所へ

2つ目は県道船橋印西線です。船橋市を起点とする船橋印西線は、千葉NT中央駅近くで北千葉道路(国道464号)と交差した後、印西市大塚のNT北環状線との交点まで開通している状況です。印西市大塚の県道市川印西線まで至る計画となっているのですが、残る1.8キロに着手する見込みは立っていません。

昨年、計画が明らかとなった千葉北西連絡道(



野田～印西)の着地点は大森地区と見られており、北千葉道路等へと結ぶことで、印西市を県北の交通要所にしたいとの狙いがうかがわれます。

●視察現場にて熊谷知事に直接の訴え

実は、いずれも市長や市担当課から、県に取り組んでもらいたい課題として要望いただいております。岩井自身、県議会にて取り上げてきた課題です。

県はこれまで、「県道千葉竜ヶ崎線バイパスは用地確保が難航している」「県道船橋印西線は、千葉竜ヶ崎線バイパスが開通した後で…」としてきましたが、いずれも地域内のみならず、県全体の発展に関わる最重要課題。同時並行的に両課題に取り組み、早期開通を目指すよう、現場にて熊谷知事に直接の訴えをいたしたところでした。

コロナ自宅療養で大変だったこと～県へ改善要望

依然として収束の見通しがつかない新型コロナウイルス感染症。3月に陽性となった知人より、自宅療養で苦労したこと等について詳しく聞き取ることができました。

●38.3度の発熱 PCR検査2日後に陽性判明

50代女性のAさんが体の不調を感じたのは、3月月末のある日のこと。検温すると38.3度の熱があったものの、すでに夜10時を回っていたため、病院等への連絡は翌日となります。朝一番で発熱外来について調べますが、PCR検査を実施していない医療機関もあり、意外と選択肢はありません。架電してようやく繋がった病院でPCR検査を受け、その結果についての連絡があったのは2日後の夕方だったとのこと。

●療養中の外来受診 病院までの移動手段がない

まず改善が必要と思われたのは、医療機関への移送手段についてです。

重症には至らなかったAさんですが、重症化リスクが高い陽性患者ということで、県より病院での受診を勧められたとのこと。しかし、タクシー等の公共交通機関を利用することはできず、また同居家族による車で送迎もためらわれたと言います。そもそも送迎する人や手段がない場合もあるわけで、外来診療のための移送手段の確保は大きな課題です。

県では医療機関やホテル等の宿泊施設への患者の移送支援を行っており、実は今回のケースのような外来目的の移送も対象となっています。ただ、どのような環境にある患者まで移送を受け付けるのか

の明確な基準がなく、受付を行う各保健所のその場の判断で可否が決まっているのです。

県は患者の移送支援に力を入れるとしており、全県で計49台用意されている移送車を無駄なく活用すべき。例えば「同居家族による移動支援が得られない」など対象患者の明確化を行った上で、より積極的に受け付けるよう改善すべきと思われます。

●自宅療養者向けの配給品 日用品もあってほしい

加えて、自宅療養者向けの配給品についても改善の余地があります。

段ボール箱で送られてくる配給品は、7日分目安の食料品ということで、レトルトごはん15、レトルトカレー4など計68点となっていますが、療養中の食事としてはやや偏りがある印象。特にティッシュペーパーやトイレトペーパー、生理用品等の日用品の用意がなく、頼れる知人がいない一人暮らしの住民には足りていません。配給品の内容について、県として再検討すべき時期にあるものと思われます。

その他、新型コロナウイルスの療養証明の取得に2～3か月もかかること、患者に求められる「マイハース」や「COCOA」の入力がわかりにくく不便であること等の声をいただいております。それぞれ県に対し改善に向けた聞き取りと働きかけを行っています。

